

観光まちづくりかわら版

富士山と湖と高原のまち 日本の湖水地方

富士河口湖町の観光に関する興味深い情報やまちづくり情報などを紹介するかわら版です。

富士山・河口湖映画祭に参加しませんか？！

昨年初めて行われた富士山・河口湖映画祭ですが、全国的にみても斬新なこのイベントを、改めてご紹介します。この映画祭の最大の特徴は、「富士山麓を舞台としたオリジナルのシナリオを募集し、最優秀作品を実際に映画化して上映する」という独創的な展開にあります。この大まかな流れは以下のようになっています。

1年目 10月頃 富士山麓を舞台としたオリジナルのシナリオを募集

1年目 2月23日(富士山の日)頃 最優秀作品を決定・発表
最優秀シナリオ作品の映画製作(撮影・編集)

2年目 2月23日(富士山の日)頃 映画化した作品を上映

日本全国で様々な映画祭が行われていますが、オリジナルのシナリオを募集して映画化するという方式の映画祭はとても珍しいということです。

昨年は鈴木そなたさんの作品『湖の中の観覧車』がグランプリになり、その映画作品は今年の映画祭で初上映されました。今年は石田晶子さんの『小さな大きな富士山と』がグランプリに選ばれ、8月22日にいよいよ撮影が開始されました。完成作品は来年の映画祭(2月20日、21日)で上映されます。

このように、この映画祭は映画祭の当日だけでなく、様々な場面で多くの皆様に参加していただくことによって成り立つ通年型、参加型のイベントなのです。具体的な参加場面、参加方法は次のようなものがあります。

- **シナリオの書き方を学ぶ** 8月上旬;シナリオ教室に参加する
- **シナリオ作品を書いて応募する** 10月頃;シナリオ作品募集に応募する
- **映画に出演する** 7月～10月頃;オーディションに応募してメインキャストとして出演する
または 家族や友達と大勢でエキストラとして出演する
- **映画撮影を手伝う** 7月～10月頃;衣装製作、道具製作、食事提供など映画撮影の様々な手伝いをする
- **映画を見る** 2月23日(富士山の日)頃;映画祭会場に行き、映画を鑑賞する
- **映画祭の企画・運営に参加する** 通年;映画祭実行委員会に参加して企画・運営について検討する

この映画祭は一人でも多くの皆様に参加することによって、全国に誇れる素晴らしいイベントになります。どんな形で構いませんので、積極的にご参加ください。皆様の力を結集して、どこの地域にも真似できない、本当の「おらが町の映画祭」に育てましょう！

映画祭に関するお問合せ:TEL 72-3168(観光課)・72-5588(ステラシアター)



映画作品はDVD化し、町のPRに役立っています

道の駅かつやま 感謝祭 が行われます！

今やすっかりと全国に定着した「道の駅」ですが、初めて登場したのは平成5年で、103箇所が登録されました。それから16年経った平成21年7月現在、917箇所が登録されています(国土交通省道路局ホームページより)。

さて、ご存知のように富士河口湖町にも『道の駅かつやま』があります。道の駅かつやまは河口湖畔の小海公園に隣接した風光明媚な場所に平成10年にオープンしました。駐車場、休憩室、公衆トイレ、特産品販売所などを備え、ドライブの休憩場所として、また周辺住民の憩いの場所として親しまれています。

さて、道の駅かつやまでは、日頃のご愛顧へ感謝する『道の駅かつやま 感謝祭』を行います。季節の農産物の特売、秋の花の販売、ガラポン抽選大会など楽しい企画が行われます。この機会にぜひお立ち寄りください！

開催日: 9月18日(金)、19日(土)、20日(日)

道の駅かつやま感謝祭に関するお問合せ:TEL 72-3168(観光課)